

新型コロナウイルス対応の最前線から ～感染症発症時から現在に至る相模原市保健所の取組について～

○鈴木 仁一、吉田 健一、池田 祐美（相模原市保健所）

1 はじめに

令和元年12月に中国湖北省武漢市で原因不明の肺炎患者が発生してから、世界各地に感染が拡大した新型コロナウイルス感染症は、国内においても1月15日に最初の感染者が確認された後、第1波、第2波を経て、現在は第3波と言われる中、感染者が急増し、一部地域では医療体制が逼迫した状況に陥っている。

こうした中、本市の保健所の取組について発表する機会をいただき、課題も含めて今後の新型コロナウイルス感染症対応の一助になればと、ここに報告する。

2 相模原市における患者の発生状況

令和2年2月17日、市内在住の新型コロナウイルス感染症患者の1例目を神奈川県と合同で記者発表したが、その後もクラスターの発生などにより新規感染者が相次ぎ、国内のどの地域よりも早く感染拡大の局面が訪れた。

その後、緊急事態宣言による外出自粛の効果などもあり、しばらくは落ち着いた状況となっていたが、6月後半から断続的に患者が発生し、特に11月以降は複数のクラスターが同時発生するなど、12月下旬には累計感染者数が1,000人を超え、予断を許さない状況が続いている。

3 新型コロナウイルス感染症への相模原市の対応

本市においては、患者の発生に対応するため、市医師会や市病院協会、各医療機関と連携し、①相談体制、②検体採取と検査体制、③積極的疫学調査、④患者の療養対応が適切に実施できるよう、全体的なバランスを保ちながら体制整備を図ってきた。

(1) 相談窓口の設置

2月10日に疑い患者を帰国者・接触者外来へ受診調整する「帰国者・接触者相談センター」を開設した。開設当初は平日の午前8時30分から午後9時まで保健所職員で対応していたが、同月29日からは外部委託し、365日24時間体制で看護師が相談に対応するとともに、一般的な相談に対応するための「新型コロナウイルス感染症コールセンター」も開設した。

11月2日からは、県の相談体制の変更に伴い、「新型コロナウイルス感染症相談センター」と名称を改め、相談機能を統合した。

(2) 検体採取と検査体制

帰国者・接触者相談センターあるいは医療機関から感染の疑いのある者を確認した場合、保健所に連絡が入り、保健師が患者の状況を聞き取り、検査が必要な場合には検体採取場所の調整を行っている。

ア 検体採取

①帰国者・接触者外来

市内4か所の医療機関に対し、陰圧テントの設置支援や開設に向けての相談を行い、2月10日以降、順次、帰国者・接触者外来が開設された。さらに3月26日からは市内1か所にて医師会及び市から専門職員等を派遣し、検体採取を実施（※6月からはPCR検査センターへ移行）した。

②相模原市医師会PCR検査センター

6月11日、(一社)相模原市医師会に設置運営を委託し、ドライブスルー方式のPCR集合検査場「相模原市医師会PCR検査センター」を設置した。医師会会員の医師が当番制で検体採取を行い、医師会事務局職員が運営に当たっている。

③保健所での検体採取

クラスターが発生した場合、あるいはクラスターが発生しやすい福祉施設などで患者が発生した場合には、保健所の医師が現地に赴き、濃厚接触者などの関係者の検体採取を行うとともに、感染が拡大し、帰国者・接触者外来やPCR検査センターでの対応を上回る件数の対応が必要な場合には医師の指導により保健所職員にて検体採取を行っている。

イ 検体搬送

帰国者・接触者外来にて採取された検体は、当初、市職員が医療機関を巡回して回収し、冷温保存が可能な専用容器に入れて衛生研究所に搬送を行っていたが、7月16日から民間事業者に委託している。

ウ 検査体制

①衛生研究所におけるPCR検査

衛生研究所では、1月29日、検査機器であるリアルタイムPCR2台を新型コロナウイルス感染症検査対応とし、1日当たり40検体の検査体制を整備し、その後、更に2台のリアルタイムPCRを購入し、現在は検査機器4台で通常時1日80検体まで検査可能である。検査件数は12月24日現在13,113件となっており、人口比での検査件数は地方衛生研究所の中でもトップレベルである。

また、クラスターが発生した際には濃厚接触者などの関係者を迅速に検査することになるため、深夜まで作業を行うことで、1日最大で270件の検査を実施した。

②民間検査機関での検査

市と契約を締結している医療機関においては行政検査を民間検査機関に委託できることから、検査件数の増加に対応できるよう、行政検査を行う医療機関との契約を進めている。検査件数については、12月24日現在、市への報告分として22,948件となっている。

(3) 患者発生時の対応

ア 患者対応及び積極的疫学調査

検査の結果は、医療機関の医師又は保健所から本人に伝えられるが、陽性の場合には、医師のメディカルチェックを基本に、保健所の医師や担当の保健師、本人や家族と相談の上、入院又は宿泊療養若しくは自宅療養のいずれとするか調整している。

また、保健師が患者やその周辺の者から行動歴等を聞き取り、患者と接触した者を洗い出し、濃厚接触者についてはPCR検査を受診するよう調整を行うとともに、濃厚接触者以外であっても、学校や医療機関などで一定程度の接触がある場合については、感染拡大を防ぐため、早期から検査対象範囲を拡大し、積極的にPCR検査を行ってきた。

イ クラスター対策

事業所等で患者が発生した場合には、感染の拡大を封じ込めるため、患者からの聞き取りによる濃厚接触者の特定を行うとともに、本市の医師等が速やかに現地を訪問して検体を採取し、衛生研究所にてPCR検査を行い、当日又は翌日には結果が判明している。

こうした早期からの積極的疫学調査と迅速なPCR検査の実施により、クラスターが発生しても、ほとんどが小規模で収まっており、感染拡大の抑止に一定の効果があったと認識している。

(4) 患者の療養対応

ア 医療提供体制

①重点医療機関

神奈川モデルとして、5月20日に北里大学病院が「旧北里大学東病院」を活用し、中等症の患者を受け入れる重点医療機関として県の認定を受けた。その他に「国立病院機構相模原病院」、「相模原協同病院」の2病院が認定されており、市内での重点医療機関は3病院となっている。

②入院協力事業と空床補償

3月27日、市内の医療提供体制を確保するため、市と連携して入院患者の受入れを行った際、1日当たり最大20万円程度を補助する市独自の制度を発表し、令和元年度において、9つの医療機関が約30床の受入れに協力した。また、令和2年度においても、同様の制度として、入院協力事業補助金による支援を実施している。

イ 宿泊療養施設

旧北里大学東病院の元看護師寮を借用し、居住可能となるように整備して、4月20日から「相模原宿泊療養施設」(40室)の運営を開始した。職員が24時間常駐し、入所や退所の案内を行うとともに入所者からの問い合わせに対応している。また、健康管理として昼間は保健師が常駐していたが、12月28日から看護師の派遣委託を開始し、24時間体制で見守りが行えるようになった。

ウ 健康観察

宿泊施設や自宅での療養患者については、県においてLINE等を活用して1日2回の健康チェックを行い、健康状態に変化があった場合には適切に医療に繋ぐとともに、LINEの返信がない場合には電話連絡を行い、それでも確認ができなかった場合には保健所職員が自宅を訪問して安否確認を実施している。

4 課題と考察

新型コロナウイルス感染症への対応が始まり早1年が経過するが、刻一刻と状況が変化し、様々な課題が生じる中、現場の状況を重視しながら、一つずつ検討を重ねて解決を図ってきた。

現在でも課題は山積しており、長期化を見据えた人材の育成及び確保、中等症を受け入れる病床の確保、ワクチン接種に係る体制の整備、資機材の調達に係る予算の確保、医療機関等への財政支援など枚挙に遑がない。

陽性患者が増加し、保健所業務が逼迫する中、他部局からの応援によりマンパワーを増強して業務を遂行しているが、今後は疫学調査や健康観察など様々な感染症対策にIT化が促進されることにより、職員の負担が軽減されるとともに、国や県、患者等との情報連携が円滑化するものと思われる。

上記以外の様々な課題にも、その都度、国、県をはじめ医師会や病院協会等の関係団体や医療機関等の協力により、多くの知見を得ながら対応してきたが、今回の経験を踏まえ、状況が落ち着いた頃に関係機関も交えて振り返りを行い、今後起こりうる新型コロナウイルス以外の感染症対策にも役立てるよう、有効な体制や仕組みについて次に繋げていくことが重要だと考える。

結びに、本取組に日々尽力いただいている職員や関係者の皆様に感謝申し上げるとともに、新型コロナウイルス感染症の対応にあたる全ての皆様に、この場をお借りして敬意を表する。

相模原市における新型コロナウイルス感染症患者の発生状況等について

(1) 月別患者発生件数（12月24日公表分まで）

	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
患者発生数	12	19	43	5	11	58	141	72	146	248	281	1,036

(2) 陽性者の内訳（12月24日公表分まで）

陽性者数	うち療養中			うち回復	うち死亡
	入院	宿泊療養	自宅療養		
1,036	32	15	80	895	14

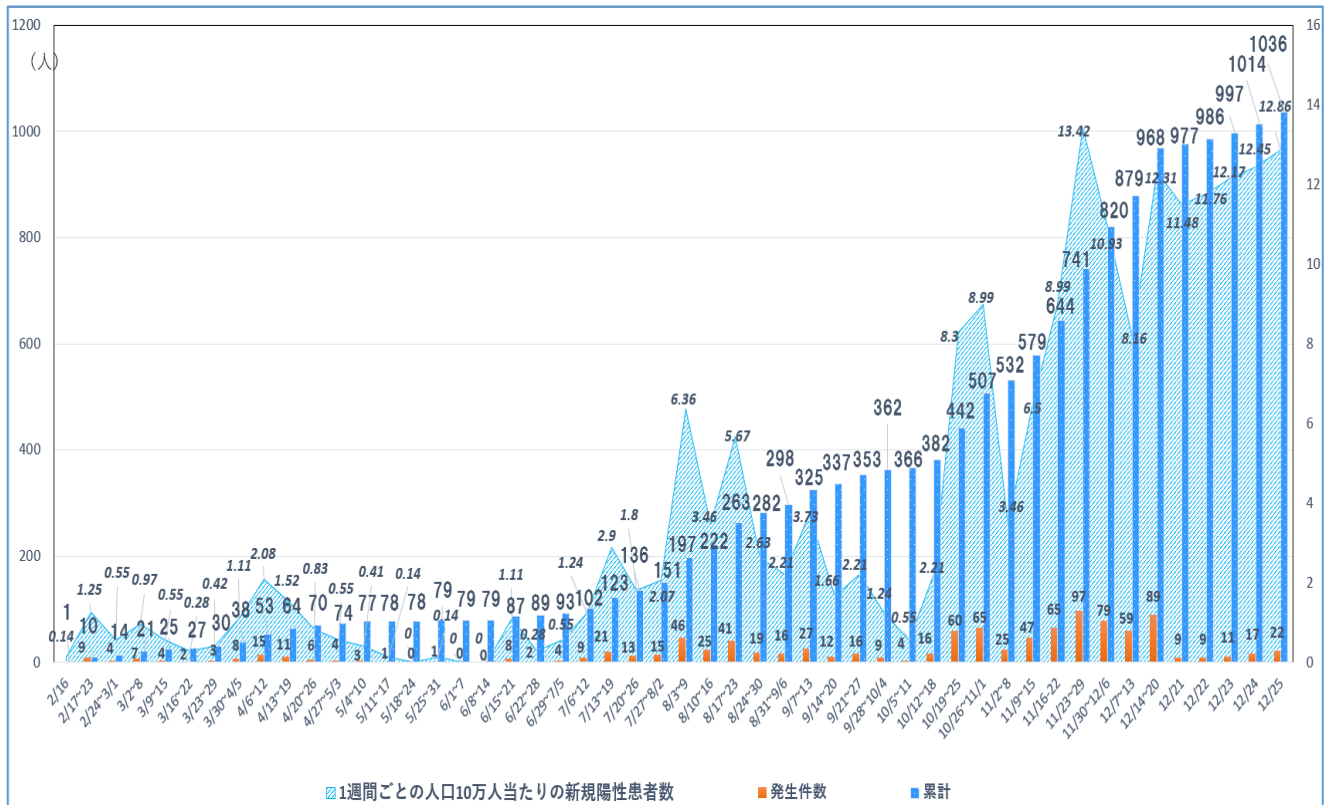
(3) 年代別数（12月24日公表分まで）

	10歳未満	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代	100歳以上	合計
人数	26	47	256	140	141	157	97	88	59	21	4	1,036
割合	2.5%	4.5%	24.7%	13.5%	13.6%	15.2%	9.4%	8.5%	5.7%	2.0%	0.4%	100%

(4) 衛生研究所におけるPCR検査件数（12月24日現在）

		2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
市衛生研究所におけるPCR検査実績	検査人数(人)	528	672	1,031	814	731	1,084	1,693	1,466	1,680	1,685	1,446	12,830
	検査件数(件)	590	751	1,122	845	736	1,092	1,694	1,466	1,682	1,688	1,447	13,113

(5) 新型コロナウイルス市内陽性患者発生状況（12月24日公表分まで）



1週間ごとの人口10万人当たりの新規陽性患者数 (人) 【陽性者数 / (人口 / 10万人)】